

# 安全データシート

作成日: 2016/03/30

## 1. 化学品及び会社情報

化学物質等の名称: セラシッド グリーングロース  
製造元会社名: SELKO B.V.  
輸入販売元会社名: DKSHジャパン株式会社  
生産資材事業部門  
住所: 東京都港区三田3-4-19 大阪市中央区南船場4-3-11  
電話番号: 03-5441-4525 06-6282-0561  
FAX番号: 03-5441-4527 06-6282-1718  
推奨用途及び使用上の制限: データなし

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

物理化学的危険性: 該当区分なし  
健康に対する有害性: 皮膚腐食性・刺激性 区分1B  
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分1  
環境に対する有害性: 該当区分なし

### ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語: 危険  
危険有害性情報: 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷  
注意書き: 【安全対策】 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面などの個人用保護具や換気装置を使用し、暴露を避けること  
熱、火花、裸火のような着火源から遠ざけること  
【救急処置】 吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること  
皮膚に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎまたは取り除くこと。皮膚を流水またはシャワーと石鹸で洗うこと  
眼に入った場合、水で15分以上注意深く洗い、まぶたの裏側もよく洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること  
飲み込んだ場合、意識のある場合は水を用いて口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。意識のない場合は何も与えてはならない  
【医師連絡】 吸入した場合、皮膚に付着した場合、眼に入った場合、飲み込んだ場合は直ちに医師に連絡すること  
気分が悪い時、皮膚刺激または発疹が生じた場合、暴露またはその懸念がある場合、医師の診断/手当てを受けること  
【保管】 容器を密閉して、直射日光を避け、換気の良い場所で保管すること  
施錠して保管すること  
国/地域情報: データなし

## 3. 組成及び成分情報

化学物質/混合物の区別: 混合物

### 成分情報

化学名又は一般名	CAS番号	濃度又は濃度範囲 (%)
脂肪酸	67701-05-7	
二酸化ケイ素		
ギ酸/ギ酸アンモニウム	64-18-6/540-69-2	≥10
プロピオン酸	79-09-4	1~5
酢酸	64-19-7	

## 安全データシート

### 4. 応急措置

吸入した場合:	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる 直ちに医師に連絡すること
皮膚に付着した場合:	直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、または取り去ること 皮膚を速やかに多量の水と石鹸で洗うこと 直ちに医師に連絡すること
目に入った場合:	皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること 水で15分以上注意深く洗い、まぶたの裏側もよく洗う。次に、コンタクトレンズ 直ちに医師に連絡すること
飲み込んだ場合:	目の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること 意識のある場合は水を用いて口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。意識 直ちに医師に連絡すること
予想される急性症状及び遅発性症状:	データなし
最も重要な兆候及び症状:	データなし
応急措置をする者の保護:	救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する
医師に対する特別注意事項:	症状は遅れて発現する場合があります、安静と医学的な経過観察が必要

### 5. 火災時の措置

消火剤:	二酸化炭素、粉末消火剤、水噴霧、泡消火剤、乾燥砂
使ってはならない消火剤:	棒状注水
特有の危険有害性:	火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生する恐れがある
特有の消火方法:	危険でなければ火災区域から容器を移動する 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する 消火のための放水が環境に流出しないよう適切な処置を行う
消火を行う者の保護:	消火作業の際は、空気呼吸器を含め、耐熱性の化学用保護衣を着用する

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する 関係者以外の立入りを禁止する 作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける 風上に留まり、低地から離れる 密閉された場所に入る前に換気する
環境に対する注意事項:	環境中に放出してはならない 河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する
回収、中和:	ほこりを立てないように注意しながら掃き集め、密閉容器に回収する 安全な場所に導き、密閉容器に回収する 漏出区域を水で十分に洗い流す
封じ込め及び浄化の方法・機材:	危険でなければ漏れを止める
二次災害の防止策:	すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止) 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ

### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策:	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する
局所排気装置・全体換気:	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行なう 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること
安全取扱い注意事項:	周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱をしない 粉じんの発生と拡散を防止する 粉じんの吸入を避けること 粉じんの吸入を避けること 眼に入れないこと 眼、皮膚との接触を避けること 接触、吸引又は飲み込まないこと この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと 取扱い後はよく手を洗うこと 環境への放出を避けること
保管	接触回避: 『10. 安定性及び反応性』を参照

## 安全データシート

技術的対策:	保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける
混触危険物質:	保管場所の床は水や危険物が浸入し、又は浸透しない構造とすること
保管条件:	『10. 安定性及び反応性』を参照 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。— 禁煙 混触危険物質から離して保管する 容器は直射日光や火気を避けること 容器を密閉して換気の良い場所で乾燥状態にて保管すること 施錠して保管すること
容器包装材料:	消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する

### 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
日本産衛学会(2015)	吸入性結晶質シリカ: 0.03 mg/m <sup>3</sup> ギ酸: 5ppm、9.4mg/m <sup>3</sup> 酢酸: 10ppm、25mg/m <sup>3</sup>
ACGIH	プロピオン酸: TWA 10ppm 酢酸: TWA 10ppm
設備対策	全体換気または局所排気のできる装置を設置すること 製品を貯蔵しない取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること 換気が不十分な場合は、呼吸用の保護具を着用すること
保護具	呼吸器の保護具: 防塵マスク、簡易防塵マスク、空気呼吸器、送気式マスク等を着用すること
手の保護具:	保護手袋を着用すること
眼の保護具:	安全眼鏡等の眼の保護具を着用すること
皮膚及び身体の保護具:	化学飛沫用のゴーグル及び顔面保護具を着用すること 前掛け、長靴などの保護衣、顔面用の保護具を着用すること
衛生対策	この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと 取扱い後はよく手を洗うこと

### 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など:	白色～淡褐灰色粉末
臭い:	データなし
pH:	3.5～4.1
融点・凝固点:	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲:	データなし
引火点:	>130°C
爆発範囲(上限):	データなし
爆発範囲(下限):	データなし
蒸気圧:	データなし
蒸気密度(空気=1):	データなし
比重(密度):	0.514～0.560kg/L
溶解性:	データなし
n-オクタノール/水分係数:	データなし
自然発火温度:	データなし
分解温度:	データなし
臭いのしき(閾)値:	データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1):	データなし
燃焼性(固体、ガス):	データなし
粘度:	データなし

### 10. 安定性及び反応性

安定性:	通常取扱においては安定
危険有害反応可能性:	混触危険物質と反応する
避けるべき条件:	空気中への開放 加熱、火気、混触危険物質との接触
混触危険物質:	強酸化剤、強酸、強塩基
危険有害な分解生成物:	熱分解や燃焼により発生するガスや蒸気は健康に有害の恐れ



## 安全データシート

### 11. 有害性情報

急性毒性:

シリカ微粉末  
LD<sub>50</sub>(経口) >10000mg/kg ラット  
LD<sub>50</sub>(経皮) >5000mg/kg ウサギ  
LC<sub>50</sub>(吸入) 0.139mg/L/4h ラット

プロピオン酸  
LD<sub>50</sub>(経口) 3383mg/kg ラット(平均値)  
LD<sub>50</sub>(経皮) >4960mg/kg  
LC<sub>50</sub>(吸入) >20mg/L

酢酸  
LD<sub>50</sub>(経口) 3420mg/kg ラット(平均値)  
LD<sub>50</sub>(経皮) 1060mg/kg ウサギ

ギ酸/ギ酸アンモニウム  
LD<sub>50</sub>(経口) 730mg/kg ラット  
LC<sub>50</sub>(吸入) 7.85mg/L/4h ラット(サブライマー試験)

脂肪酸  
LD<sub>50</sub>(経口) >2000mg/kg ウサギ  
LC<sub>50</sub>(吸入) >0.16mg/L/4h ラット

皮膚腐食性/刺激性:  
眼に対する重篤な損傷/刺激性:  
呼吸器感受性:  
皮膚感受性:  
生殖細胞変異原性:  
発がん性:  
生殖毒性:  
特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露):  
特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露):  
吸引性呼吸器有害性:

データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし

### 12. 環境影響情報

生態毒性:

シリカ微粉末  
LC<sub>50</sub>(魚類) >10000mg/L/96h *Brachydanio rerio*

プロピオン酸  
LC<sub>50</sub>(魚類) >1000mg/L/96h *Goudwinde*  
EC<sub>50</sub>(甲殻類) >500mg/L/48h *Watervlo*  
EC<sub>50</sub>(藻類) >500mg/L/72h *Scenedesmus subspicatus*

酢酸  
LC<sub>50</sub>(魚類) 75mg/L/96h

残留性・分解性:  
生体蓄積性:  
土壌中の移動性:  
オゾン層への有害性:  
他の有害影響:

データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし

### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと  
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共  
団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する  
廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知  
の上処理を委託する

汚染容器及び包装:

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準  
に従って適切な処分を行う  
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること

### 14. 輸送上の注意

国際規則  
航空輸送 UN No.:

IMOおよびICAO/IATAの規定に従う。  
3261

## 安全データシート

海上輸送:	船舶安全法:	CORROSIVE SOLID, ACIDIC, ORGANIC, N.O.S.(fatty acids, propionic acid)
国内規制		8
特別の安全対策		II
		『15. 適用法令』の項を参照
		『15. 適用法令』の項を参照
		輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込む
		製品及び容器が落下、転倒もしくは破損をしないよう積載すること
		製品及び容器が著しく摩擦または動揺を起こさないように運搬すること
		重量物を上積みしない
		タンクローリー等のバルク輸送時にイエローカードの携行が必要

### 15. 適用法令

労働安全衛生法:	名称等を表示、通知すべき危険物及び有害物 (シリカ、プロピオン酸、酢酸、ギ酸)
----------	--

### 16. その他の情報

参考文献  
SDS (SELKO B.V., Product name Selacid Green Growth-P-MP, Revision nr. 10, Dated 8/12/2015)  
16514の化学商品 化学工業日報  
GHS分類対象物質一覧(H19.4.4現在)  
化学物質総合検索システム  
オンライン安全衛生情報  
Recommendation of Occupational Exposure Limits, Japan  
PRTR制度対象物質データベース  
JIS Z 7253: 2012 (GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS))

本SDSは製造元提供情報を元に最新の情報で作成しておりますが、すべての情報を網羅するものではありません。  
また、新たな情報を入手した場合には、予告なく追加・訂正されることがあります。  
記載された情報は、安全な取扱いを行う上での参考情報であり、いかなる保障をなすものでもありません。  
ご使用の際はご使用者様の責任において用法・用途に適した安全性対策を実施してください。